

令和4年6月20日  
文教・福祉常任委員会資料  
教育部生涯学習課

令和3年度宇治市総合野外活動センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、  
別紙のとおり報告いたします。

# 令和3年度 事業報告書

令和4年5月26日

施設名	宇治市総合野外活動センター
団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表者名	代表理事 杉本 厚夫
指定管理期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日(5年間)

## (1) 業務実施状況報告(令和3年度)

### 【管理運営に関する基本方針と結果】

豊かな自然を生かし、市民各層の交流と余暇時間の有効活用を図るとともに、過疎化の進む地域の振興を図ることを目的として宇治市総合野外活動センター（アクトパル宇治）が開設されて20有余年、公益財団法人宇治市野外活動センターは一貫して施設の管理運営を任されてきた。

とりわけ平成23年以降、公益財団法人へと移行してからはより公益性が求められることとなり、平成25年には今後10年の長期ビジョンを示す長期運営計画を策定し、現在は本計画に基づき計画的・安定的な経営を行っているところである。

その中で、令和3年度は5年間の指定管理者としての最終年度であり、当法人としては期間中の実績を総括し成果及び課題を検証して、次期指定管理者として指定されるべくより高水準のサービスを提供するための事業提案を行う重要な年度であった。提案するには実績に則った方法だけではなく、最新の社会状況を的確にとらえて時代を先読みすることが不可欠であり、令和3年度は新たな取り組みとして各々の主催事業の目的にSDGsの理念を取り込み、優先順位を定めて事業に具体的な目標を反映させ、公益性を高められるよう努めた。

また、日常的な施設運営についても、お客様への感染対策のチェックや随所の消毒など職員一同感染症予防を徹底し、安心してご利用いただける施設となるようお客様にも注意喚起を行い、万全を期すこととした。ほかに施設面ではこれまでから老朽化に伴う大規模修繕や利便性の向上のための設備改善の経費を宇治市により予算措置されており、今後も法人予算とあわせて、より安全・安心の中で施設をご利用いただけるよう、市との連携を図ることとした。

さらに、自然災害や突発的な事件事故、感染症等が発生した場合には業務継続計画(BCP)に基づいて臨機応変に速やかな対応を行い、人的物的資源の損失を最小限に抑えつつ一日も早く日常的な状況へ戻れるよう業務の継続を図ることとする。現下の状況では、新型コロナウイルス感染症への対応に自然災害への対応が重なることも想定しておく必要があると考えている。

そして、(有)笠取ファームは既述の施設運営上の大切なパートナーであり、新型コロナウイルス感染症の影響下でのお客様の利用状況の大きな変化を乗り切り、お客様のニーズに的確に応えていけるように連携を図り、協力体制をより強固なものにする。

最後に、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響と並行するように野外活動の人气が高まり、宇治市総合野外活動センターを初めて利用されるお客様も多数おられた。当法人としてはお客様が施設を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together を重点目標にして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう管理運営を行う。

以上、方針に基づき管理運営にあたった。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、臨時休所や利用制限等の影響もあり、利用者数は減少した。

## 【利用促進策の取組結果について】

### [3 年度の取組み]

- ・「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」に参加し、割引価格で宿泊利用いただけるよう調整を図った。
- ・京都府の「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」や、一般社団法人日本旅行業協会等が作成した「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」を基準とした感染症予防対策を行った。
- ・「燻製をたのしもう！」「ダッチオープンでケーキをつくろう！」イベントを新たに実施した。
- ・緊急事態宣言の影響で延期となった学校利用を冬期に実施できるよう調整を図った。
- ・イベント開催にあたっては、状況に合わせて定員数や実施回数、内容の調整等、感染予防対策を徹底した上で実施した。
- ・(有)笠取ファームと連携し、食堂・売店において京都府新型コロナウイルス感染防止対策の認証を取得し、安心してご利用いただけるよう PR した。

### [2 年度の取組み]

- ・安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の予防対策に取り組んだ。(利用定員制限、手洗い場・消毒液の増設、入所時の体調・検温確認、館内放送での呼び掛け等)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛期間、施設休所期間には、ホームページに「おうちでたのしもう！」というコンテンツを掲載し、自宅で楽しんでいただけるプログラムの提供や施設の PR に努めた。
- ・「GoTo キャンペーン」、「京都のお宿キャンペーン」、「宇治市のお店応援キャンペーン」の利用調整を図った。
- ・営業再開後も、京都府や旅行業協会のガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染症の予防対策を継続した。
- ・「藍染めをやってみよう！」を新たに企画した。
- ・(有)笠取ファームと共同で、「グラウンド・ゴルフ&鍋焼きうどん」プランを販売した。
- ・「アクトパル秋まつり」は、密を避けるためイベントの規模を縮小し、「アクトパル秋のひろば」として実施回数を増やして 2 日間実施した。
- ・「アウトドアクッキング」は応募多数のため日程を 1 日追加した。
- ・キャンプファイアー場を能楽(薪火能)の舞台としてご利用いただいた。

### [元年度の取組み]

- ・開所 20 周年記念として、感謝祭やクラウドファンディング、シンポジウム、記念誌発行といった新規事業に取り組んだ。
  - ① 幼児向け遊具設置をめざして支援を募ったクラウドファンディングでは、目標の 50 万円を大きく上回る 78 万 1 千円の支援を集めた。
  - ② 生涯学習センターを会場に開催したシンポジウムでは、フリーアナウンサーの藤田瞳氏を講師に招き、「健幸(well-being)」をキーワードに参加者とお話しいたいただいた。
- ・「陶器のランタンづくり」イベントを新たに実施した。

### [継続的な取組み]

1. 屋内施設においては、清潔な空間を維持できるよう施設管理を行った。
  - ・施設の各所に季節ごとの自然の草花等を配置し、清楚感を取り入れ日々の清掃にも注意を払った。
2. 屋外施設については、自然環境を大切に、自然と一体となった施設管理を行った。
3. 施設を有効に活用した事業、ならびに自然やふるさとを体験できる事業を開催した。
  - ・「お茶つみ体験&茶団子作り」「ふるさとを味わおう！」「星空観察とホテル」等の事業を実施した。(令和 3 年度は一部内容を変更または中止した。)
4. 気軽に参加できるフリーな事業や、利用の減少する冬期に多くの事業を開催した。
  - ・無料で天体望遠鏡での星空観察ができる「星空オープンデー」を開催した。
  - ・「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」を冬期に実施した。

・「アクトパル春まつり」「アクトパル秋まつり」「アクトパルであそぼう」等の無料イベントで施設の PR を図った。(令和3年度は一部内容を変更または中止した。)

5. 農業体験など、地域の農業や自然を取り入れた事業を開催した。
  - ・「お茶つみ体験」「ふるさと体験(稲刈り、栗拾い、しいたけ菌打ち、餅つき体験)」「じゃがいも掘り」「さつまいも掘り」等を企画した。(令和3年度は一部内容を変更または中止した。)
6. 宇治市総合野外活動センター主催のグラウンド・ゴルフ大会を月例で開催した。(令和3年度一部中止)
7. 様々な利用形態の受け入れ。
  - ・宇治を舞台にしたアニメ「響け！ ユーフォニアム」の影響で来場される方向けに、案内ポスター等を設置した。
  - ・ドローン講習会の会場として広場の使用を許可した。
  - ・結婚式、披露宴の会場として施設をご利用いただけるよう案内した。

#### 【利用料金収入の結果について】

—

#### 【地域との連携、市民参画の結果について】

1. 地域:地域との交流、連携、貢献を大切にし、地域振興の拠点となるよう努力した。
  - ・「アクトパル秋のひろば」で「地元農家」「笠取小学校」に協力を仰ぎ、イベントに出展していただいた。
2. 関係機関:市内の小中学校ならびに幼稚園、保育所との連携に努めた。
  - ・市内各小学校の「林間学習」を効率よく実施するため、代表校と日程の調整をした。
  - ・笠取小学校の授業や自然観察活動の一環で、施設をご利用いただいた。
3. 団体:(有)笠取ファームと連携し、地域の活性化に努めた。
  - ・(有)笠取ファームに、宇治市総合野外活動センターの植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。また、食堂においては、これまで笠取ならではの料理として冬季限定の「笠取鍋」を提供していたが、新型コロナウイルス感染症対策として代わりに一人用鍋で「鍋焼きうどん」「釜めし」を提供した。また、食堂の感染防止対策として、定員数の縮小や定期的な換気、手洗い消毒の励行、カウンターに飛沫防止シート、客席にパーテーションを設置するなど感染防止対策を実施した。
4. 登録団体等:ボランティア団体等の活動を支援し、宇治市総合野外活動センターの特性をアピールした。
  - ・天体観察を天文ボランティアと協力し実施した。
  - ・「宇治市野外活動協会」との協働によるキャンプイベント「家族 de キャンプ」を企画したが新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。
  - ・木工ボランティア「WOODY MATE UJI」の協力で、「夏休み親子工作デー」「冬の木工教室」を実施した。
5. 団体その他
  - ・大学生ボランティアの協力を得て、イベント(ちびっこキャンプ、ちびっこアウトドア)を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。
  - ・eco ット宇治の活動に賛同し、春のひろばに出展いただく計画だったが雨天中止となった。

【自主事業に関する取組結果について】

1. 公民館等で工作プログラムの出張教室を実施した。
2. 自宅や学校等でご利用いただける工作キットを販売した。

【情報発信の取組結果について】

1. 宇治市「市政だより」へのイベント開催予定の掲載をした。
2. 新聞各社へ自主事業等の掲載を依頼した。
3. FMうじ「宇治市探検」でイベント、施設紹介をした。
4. 宇治市総合野外活動センターのホームページにより、宿泊等予約情報やイベント情報案内の配信をした。
5. メールアドレス登録者に対して、メール配信により情報提供した。(イベント参加者に対する次回イベントの通知)令和4年3月現在登録者数約3,400人
6. 雑誌等の取材に積極的に協力し、『まっふる』『ファミリーウォーカー』『じゃらん』『クルール』『ワイヤーママ』『Leaf』等に施設紹介記事が掲載された。
7. 「観光宇治」(宇治市観光協会発行)にイベント情報を掲載した。
8. SNS(Facebook、Instagram、Twitter)、YouTube を利用して情報発信を行った。
9. KBS 京都や KCN 京都のテレビ番組取材に協力し、施設を PR した。
10. ホームページ上で、施設予約状況を公開した。

【施設の維持管理実施状況について】

[トラブル対応、防犯、防災対策状況]

1. トラブル対応

お客様の安全を第一に考え、接客、施設管理に努め、注意事項の喚起、施設保全を図った。

- ・施設内にできたスズメバチの巣を駆除した。
- ・安全管理のため、要修繕箇所について、適宜修繕を行った。

2. 防犯対策

- ・職員の防犯に対する意識の向上に努めるとともに、夜間の施設内出入りについては極力無いようお客さまに協力をお願いした。
- ・玄関、受付等に防犯カメラを設置している。

3. 防災対策

- ・台風の接近時には、施設の安全点検や倒木撤去作業を行った。
- ・宇治東消防署の査察を受け、防火対策の確認を行った。
- ・日頃の点検を重視し、非常時に備え「災害対策体制」の確認を行った。
- ・火災を想定した自衛消防訓練を実施した。
- ・アスレチック遊具の安全点検を実施した。(年1回実施)
- ・防火設備法定点検を実施し、不良箇所の修繕を行った。(年2回実施)
- ・熱中症予防にチラシ配布や放送での呼びかけ、温湿度計の設置を行った。
- ・土砂災害警戒情報発令時は、危険箇所該当施設の利用を中止した。
- ・高温注意情報、光化学スモッグ、食中毒注意報発令時に、放送やチラシで注意喚起した。
- ・新型コロナウイルス感染症に備え、施設各所に消毒用アルコールスプレーを設置した。
- ・密を避けるため炊事棟の利用テーブルを制限し、テーブル間隔をあけて利用できるようにした。
- ・緊急事態宣言に伴い、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設の一部または全体の利用休止、利用制限の措置をとった。また、お客様には消毒、手洗いうがいの励行を呼びかけた。

[利用者要望の把握状況及び実施策]

1. 日常の接客にあたり、会話を重視し、お客様の「声」を積極的に聴取した。
  - ・宿泊退室時「ご利用に関するアンケート」に、意見を記入してもらい、参考にした。
  - ・食堂メニューの改善要望に対して、(有)笠取ファームとの協議を行った。
  - ・フリーテントサイトの利用増に対応するため、エリア拡大に向けて準備を進めた。

2. 各種事業の実施後、アンケートを実施し、お客様の声を事業に反映した。

【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】

1. 経常経費の縮減について

- ・こまめに電気を切り、お客様に対してもポスター等で節電・節水を呼びかけるなど、光熱水費の縮減に努めた。
- ・電話通話料割引サービスに加入し、通信コストの削減に努めた。
- ・電気コスト削減のため、一部施設(宿泊棟)の電球をLED化した。
- ・電気コスト削減に向け、高圧電力を比較し、料金の安い電力会社と契約した。
- ・緑のカーテン(ゴーヤ)を設置し、クーラーの利用の縮減に努めた。

2. 低コストの追求について

- ・利用頻度を考慮して、貸出備品を見直し、内容を整理して、維持コストの削減・作業の効率化を図った。
- ・値動き幅の大きい灯油は、2か月ごとの契約更新とし、価格変動に対応している。

【管理運営体制等について】

[職員体制]

- |               |    |
|---------------|----|
| 1. 財団事務局長     | 1人 |
| 2. 財団職員       | 3人 |
| 3. 財団嘱託(常勤)   | 7人 |
| 4. 財団管理嘱託(宿直) | 4人 |
| 5. 臨時職員       | 7人 |

[職員研修計画と実施状況]

1. 職員研修の実施

- ・全国青少年教育施設長会議(令和3年度はオンライン開催)
- ・公益法人向けセミナー(経理、法改正対応)
- ・日常研修:毎朝のミーティング時に実施

2. 職員取得資格

- |                 |    |
|-----------------|----|
| ・危険物取扱者免状       | 3人 |
| ・甲種防火管理講習修了証保有者 | 2人 |
| ・学芸員資格          | 1人 |
| ・保育士資格          | 1人 |

## (2) 施設利用状況報告(令和3年度)

【施設利用状況】1. 入館(場)者数					
緊急事態宣言による繁忙期(4~6月、8~9月)の臨時休所等、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、利用者数が大きく減少したが、宿泊利用では学校利用が秋冬に延期されたこともあり、令和2年度より37.1%増加した。					
平成29~令和3年度 利用者数 (単位:人)					
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
宿泊利用	35,133	32,600	30,787	8,401	11,516
日帰り利用	66,390	65,743	66,178	53,732	34,385
合計	<b>101,523</b>	<b>98,343</b>	<b>96,965</b>	<b>62,133</b>	<b>45,901</b>

【施設利用状況】2. 貸館状況						
平成29~令和3年度 施設別利用者数 (単位:人)						
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
宿泊施設	管理棟宿泊室	2,464	2,614	2,191	1,215	1,122
	宿泊棟宿泊室	27,457	25,265	23,745	4,893	8,593
	テント(フリーテントサイト 日帰り利用者含む)	3,861	3,375	3,605	1,749	1,199
	山の家	1,573	1,516	1,271	875	789
その他施設	研修室	12,161	12,416	9,964	1,815	3,191
	体育館	19,587	19,198	16,723	5,896	9,339
	天体観察室	4,703	4,617	3,153	916	1,240
	工作棟	9,248	9,388	9,221	5,037	5,724
	野外炊事棟	29,445	27,930	25,718	12,555	10,045
	グラウンド・ゴルフ場	5,037	5,663	5,934	4,270	3,562

## (3)管理経費収支報告(令和3年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市総合野外活動センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	57,436	56,979	宇治市総合野外活動センター指定管理料	
	利用料金収入				
	その他				
収入合計 (A)		57,436	56,979		
支出	人件費				
	施設維持管理費				
	事業運営費	57,436	56,979	修繕費 5,581 光熱水料費 9,140 燃料費 1,527 委託費 34,084 賃借料 2,814 その他 3,833	
	事務費				
	一般管理費				
	その他				
	支出合計 (B)		57,436	56,979	
収支 (A) - (B)		0	0		

(4)－1 事業実施状況報告(令和3年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
特になし		

(4) - 2 事業収支状況報告(令和3年度)

団体名 公益財団法人 宇治市野外活動センター  
(単位:千円)

事業名	事業実施予算・決算等						
	参加人数と 1人あたり 参加費	収支 (A)-(B)	収入		支出(B)		
			市からの 委託料	参加費 ( A )	講師 謝金	材料費 等	その他
特になし							
計							

※ 各欄上段=予定額、下段=実績で記入すること